

銅試験紙 (MN90601)

取扱説明書

国内総発売元

株式会社 アイシス

大阪市東淀川区西淡路1-1-36

TEL:06-6325-1406 FAX:06-6328-8995

ご使用前に必ず熟読いただき正しく使用してください。不注意/誤った使用方法・保管方法による不具合、カタログおよび下記《取扱上の注意》を含めた各種注意事項を順守されていない場合は責任および保証の一切を負いません。

《取扱上の注意》

1. 試験紙に触れる際は必ず研究用手袋を装着してください。指示薬により皮膚に炎症を起こす恐れがあります。
2. 測定後の試験紙の変色は、時間経過によって変化する場合があります。

《使用法：物質表面の銅》

1. 必要数の試験紙をプラスチックケースから取り出し、残りはすぐに蓋を閉めます。
2. 蒸留水で湿らせた試験紙をサンプル表面に 30 秒間押し付けます。多量の銅や銅化合物などが検出された場合、白色試験紙は瞬時に桃色、濃度によっては暗赤色に変色します。少量の場合は変色に数分間かかる場合があります。

《使用法：灰の中の銅》

1. 必要数の試験紙をプラスチックケースから取り出し、残りはすぐに蓋を閉めます。
 2. 事前に希塩酸で酸性にさせた灰の中に蒸留水で湿らせた試験紙を 30 秒間入れます(酸性にさせた灰を湿らせた試験紙にまぶした状態にします)。
 3. 白色試験紙は銅や銅化合物などが検出された場合、数分で桃色または暗赤色に変色します(試験紙の両面を見ることで、検出の信頼性が高まります)。
- ※含まれている銅や銅化合物などが少量の場合は灰を蒸留水で湿らせた試験紙に直接まぶし、灰を蒸留水で洗い流した後で変色を確認します。

《使用法：溶液中の銅イオン(Cu⁺またはCu²⁺)》

1. 必要数の試験紙をプラスチックケースから取り出し、残りはすぐに蓋を閉めます。
 2. pH2~6 に調整したサンプル溶液を試験紙に 1 滴滴下します。
- A. 銅イオン濃度が 10mg/L 以上の場合
白色試験紙の溶液滴下箇所に桃色のスポットが現れます。変色が分かりにくい場合は蒸留水による対照実験を行ってください
- B. 銅イオン濃度が少量(例えば 3~5mg/L)の場合
サンプル溶液を 1 滴清潔なスライドグラスへ滴下し水分を蒸発させます。その後、蒸留水で湿らせた白色試験紙を蒸発させたサンプルへ押し付けます。銅化合物が含まれていれば試験紙に赤色のスポットが現れます。
- C. さらに低濃度の場合
サンプル溶液を数滴清潔なスライドグラスへ滴下し、上記 B と同様に検出します。

《後始末》

使用後の試験紙や廃液は絶対に下水へ流さず、各自治体の条例に従い廃棄してください。

《保管》

日光および高温多湿に晒さず乾燥した+30℃以下の冷暗場所に保管し、開封後は使用期限に関わらず速やかに使用してください。